

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フラープ		
○保護者評価実施期間	2024年 9月 6日		2024年 10月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 7
○従業員評価実施期間	2024年 9月 6日		2024年 9月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での生活のため、個々の課題に対応しやすい。</li> <li>・グループ分けを行い、落ち着いて過ごせるように配慮をしている。</li> <li>・保育園等の大きな集団で生活ができるように、同じ活動(シール貼、歯磨き等)を取り入れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの場所をコーナーで区切り、こどもが遊びにのめり込めるように設定している。</li> <li>・家庭生活に近い道具を使用する。(補助台・手作りの台)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団の生活により、集団で必要な「集団行動」「順番」「物の共有」の力を養うために、活動の場面でトレーニングできる計画をたてる。</li> <li>・これからも家庭での生活につながるように身の自立に向けた環境であり続ける。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様との関係が築きやすい。</li> <li>・平日、土曜と2回に分けた母子保育を企画しているため、就労している保護者様がいずれかの日に参加しやすくなっている。</li> <li>・職員と保護者様との話す機会が多く、相談をしやすい雰囲気を作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保育の時間内で、保護者様のみの時間を設定している。内容は座談会もあれば、プチ勉強会などを行っている。</li> <li>・小さな集まりで、お互いに話しやすい空間を作る。</li> <li>・職員間での情報共有保育での目的、こどもへの接し方の共通理解がしっかりできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保育や土曜母子保育の利用を勧める中で、保護者様との関係を築くことや相談のしやすい雰囲気作りを意識している。</li> <li>・保護者様とのグループワークを通して、子育ての不安や大変さを共感する。それぞれの考え方を参考にしたり、自身の考えの整理につなげていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問との併用利用により、保育所やこども園での生活を一貫して支援することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、こども園の姿と児童発達での姿の違いや、お互いの生活の場で安心して過ごすことができるように同じ関りができるように情報を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎の時に、保育園やこども園の先生との話す時間を情報共有の時間意識を持っている。</li> <li>・年に2～3回の連携会議を持つことで、こどもがどの機関で過ごしていても変わらない支援を受けられるようにつなげていく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎の範囲が広いと、遠くの利用児童の到着時間に格差が出る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車のない家庭には送迎サービスが必要であるため、遠方であっても送迎車の計画を立てる。</li> <li>・台数とドライバーの配置を確実にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出発時間や経路を最短で思考しながら計画を立てている。</li> <li>・車内で、楽しい時間を持つことができるように、ドライバーと添乗員を配置して、車内でもクイズ、歌や手遊びで過ごすようにしている。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の集まりが月に1回の開催をしている。就労をされている保護者に対しても参加をしやすい配慮を考える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の予定を春先に発信して、参加を促している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催の日程を学校行事に重ならないように、可能な限り地域の学校情報を収集して年間の調整をする。</li> </ul>